

# 六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校  
平成 25 年 10 月 10 日(木)№.11  
E-mail isobesho@itoigawa.ne.jp  
URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/>



自分の言葉で伝えよう みんな笑顔になろう 元気な体をつくろう

## 自分を振り返る力の大切さ ~「せいだ病」にならないために~

校長 高橋 雅史



何年か前に「せいだ病」という言葉が、マスコミなどで使われたことがありました。これは、「自分が今こうなったのは、みんな〇〇のせいだ。」という思いしかなく、自分自身の反省ができない大人に皮肉を込めて使われた言葉です。〇〇には、しばしば“世の中”や“会社”，“家族”，“学校時代の友人”，“先生”などが入ります。もちろん、本当の病気や障害ではありません。



学校では子どもたちのトラブルは、しばしば起こります。けんかをしたり、何かを壊してしまったり、時には、遊び過ぎて授業に遅れてしまったり、集団で仕事を怠けてみたり……。学校はたくさん子どもたちが集団で成長していくための場なので、多少のトラブルが起こるのは仕方ありません。

しかし、とても残念なのは、「〇〇のせいで、ケンカになった」や「〇〇がやっていたから、自分もやってしまった」というような言葉がよく聞かれる時です。誰か1人に100%の原因がある場合も中にはあるかもしれませんが、しかし、かかわった子どもたち全員が自分自身を振り返り、「何故そうしてしまったのか」について、深く考えてもらいたい場合がほとんどです。

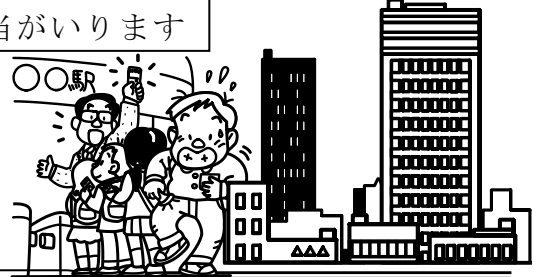
子ども同士がけんかをしたときに、「〇〇のせいだ」、「〇〇が先に手を出した。いや、そっちがさきだ。」と言い合っているうちは、解決の糸口は見えてきません。そんな時には、冷静に自分を振り返るように仕向けると、自分にも非があったことに気づくことが多くあります。振り返りが、反省につながり、「ごめんなさい」という謝罪の言葉につながってきます。

きまりや約束を破ったり、マナーを守らなかったりして問題が起きた時に「〇〇がしていたから、自分もしてしまった」という言い方がよく聞かれます。子ども自身を振り返らせ、「たとえ皆がしていても、自分はしなければよかった。自分が『やめよう』と言わなければならなかった」ということに気づかせることが大人の役割だと思います。

何かがあって「〇〇のせいだ」という言葉が聞かれた時は、子どもたちに、自分自身を振り返るよい機会になるかもしれません。その時は、子どもの話を鵜呑みにするのではなく、時間がかかっても対話しながら、きちんと自分自身を振り返らせることが何より大切だと思います。

## 10月の後半の主な行事予定

- 11 (金) 体力測定・クラブ活動
- 15 (火) 臨時全校朝会(マラソン大会表彰)
- 16 (水) 音楽朝会・新校舎竣工祝賀会拡大実行委員会(19:00~)
- 17 (木) 歯科検診
- 18 (金) 文化祭前日準備(1~4年生...3限給食後下校, 5・6年生...文化祭準備後下校)
- 19 (土) 平成25年度磯部小学校文化祭 ← お弁当がいります
- 21 (月) 振り替え休業日
- 23 (水) 発表朝会 ゼロ
- 25 (金) いじめ見逃し0スクール集会(2限)
- 30 (水) 6年生修学旅行1日目(東京方面)
- 31 (木) 6年生修学旅行2日目



## 11月の主な行事予定

- 1 (金) 能生地域小・中音楽発表会
- 6 (水) 全校朝会
- 8 (金) 竣工式・祝賀会前日準備(1~4年生...3限給食後下校, 5・6年生...文化祭準備後下校)
- 10 (日) 磯部小学校新校舎竣工式・祝賀会
- 11 (月) 振り替え休業日
- 13 (水) 糸魚川市内教職員一斉研修会(児童は3限給食後下校)
- 14 (木) 子ども貯金日
- 15 (金) 委員会活動
- 19 (火) 放射線学習会
- 20 (水) 児童朝会
- 21 (木) 就学時健康診断
- 27 (水) 発表朝会
- 28 (木) PTA第4回委員会
- 29 (金) 委員会活動



## 9月の磯部小学校

一年生は生活科の学習でヤギを飼い始めました。サンダーと名付けて、一生懸命お世話しています。



三年生は、親子PTA行事でジオ学習として校区内の様々な場所を探検してきました。



## 校内マラソン大会

10月7日(月)に校内マラソン大会が行われました。子どもたちは、それぞれの距離を力一杯走りきりました。当日は、上越教育大学支援プロジェクトの先生方も参加し、一緒に走っていただきました。



### 校長室から

## 本当に大切なものは？



9月に今年度3回目の全校SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)を行いました。これは、話し合いなどの活動を通して、子どもたちがよりよい自己決定ができるようにするとともに、他とのかかわりを深めながら望ましい社会性を育むための学習活動です。

「磯部地域が怪獣ゴジラに襲われて、無人島に全員避難しなければならなくなった。その時、何をもって(連れて)いくか」これが、9月の全校SSTの設定問題です。26種類の様々な内容から何を選ぶか話し合います。大人から見ると、「なんだ、遊びみたいだ」と思われるかもしれませんが、子どもたちは真剣に話し合っています。最後の「もし、たった一つだけしかもっていけないとしたら？」の問いには、次のように答えていました。

【1・2年生】・友だち…6人 ・野菜…5人 ・ふとん, まくら…2人  
・住むところ…2人 ・薬…1人 ・米…1人

【3・4年生】・友だち…4人 ・野菜…4人 ・住むところ…4人 ・家族…3人  
・米…2人 ・薬…1人 ・ペット…1人 ・本…1人

【5・6年生】・友だち…12人 ・住むところ…6人 ・おやつ…2人  
・野菜…3人 ・米…2人 ・ふとん, まくら…1人

教科書, まんが本, ゲーム, 携帯電話(スマホ)なども選択肢に入っていたのですが, 選んだ子どもはいませんでした。子どもたちは子どもたちなりに、「生きていく上で何が大切か？」を考えているようです。

# お知らせ

## 放課後いそべ塾

毎週の火・水・金曜日の放課後30分、学校で学習をする「放課後いそべ塾」を始めました。対象にしているのは3年生以上の希望者で、算数の下学年の内容の復習から自分のペースで集中して取り組めようとしています。

例えば、4年生は3年生コースからスタートし、級を上げながら3年生コースの修了を目ざし、3年生コースを卒業したら4年生コースに進むという方法です。5・6年生は課外活動があるため3・4年生が中心メンバーですが、どの子も30分間集中して一生懸命取り組んでいます。今後もこの取組を工夫しながら続けていきたいと思ひます。保護者の皆様も地域の皆様も子どもたちががんばっている姿をご覧いただき、励ましの言葉をかけていただければ幸いです。



また、ボランティアで学習指導の補助ができるという方がおられましたら、学校の教頭までご連絡ください。

## 発表文の紹介

二年生は、「あつたらいいなこんなもの」という国語の単元で、発表のための作文を書きました。子どもたちの夢がたくさん詰まった発表文ができました。



「くつつき手ぶくろ」  
 いけしま あんな  
 わたしが、あつたらいいな  
 と思ったわけは、海のいきもの  
 のをいっぱいいたべたいから  
 です。  
 手ぶくろの色は、水色と青  
 です。  
 おもさは、とてもかるくて  
 一円玉くらいです。  
 どんな魚でもこの手ぶく  
 ろにぜんぶくつつきます。く  
 つつき手ぶくろをつけると、  
 ぬるぬるしてつかみにくい  
 魚やすばしこくてにげるの  
 がはやい魚でもくつつきま  
 す。

「レオンじょうざい」  
 さとう たけと  
 ぼくがあつたらいいなと  
 思うものは「レオンじょうざ  
 い」です。  
 わけは、かくれんぼでかん  
 たんに見つかるのとつまらな  
 いし、おにからにげるとき、  
 見わけをつかなくさせて、に  
 げることができるところです。  
 とくちようは、このくすり  
 をのむとさわったものと同  
 じ色にかわります。見わけが  
 つかないので、おににつかま  
 りません。  
 ただし、五分たつともとに  
 もどります。おもさは、けし  
 ゴム一こ分です。

「なんでもライト」  
 ほさかりゆうが  
 ぼくがあつたらいいなと思  
 うどうぐは「なんでもライト」  
 といひます。  
 じぶんがじゆうにへんしんで  
 きたらいいなと思つたからこ  
 の道具を考えました。何でもラ  
 イトのもつところはむらさき色  
 です。

なんでもライトはこわれ  
 ても赤いボタンを押せばす  
 ぐになおります。ライトの  
 長さは30cmです。  
 自分になりたいものにラ  
 イトをあてると五びようで  
 へんしんすることができま  
 す。じぶんがなりたひもの  
 になんでもなることができ  
 ます。